

# 地域産業連関表の作成と これを用いた地域経済構造分析



経済学部  
教授 中村 和之

研究分野

Research area

## 財政 公共経済

研究のキーワード ▶ 産業連関表, 経済波及効果

### 研究内容

Research content

- 産業連関表は、1国あるいは1地域内の産業間の取引を行列形式の表によって表し、各産業の投入構造や生産された財サービスの販路を示すものである。
- 本研究では、最新の「平成23年富山県産業連関表」をもとに、県内を県西部地域、富山地域、新川地域に分割した「平成23年富山県地域間産業連関表」を作成し、各地域の産業構造を明らかにするとともに、県内地域間の取引や域内間取引も考慮した生産誘発効果の推計を行った。

### 研究のポイント

Research point

- 富山県地域間産業連関表の特徴
  - 3地域を経済活動を集計すれば富山県産業連関表が再現できるように各係数を推計
- 産業連関表を用いて以下のような分析が可能
  - イベントや企業誘致による経済波及効果の推計
  - 特化係数や生産誘発係数等に基づく産業構造の分析
- 将来の拡張可能性
  - 民間最終消費や財政部門を内生化することによってより詳細な分析が可能

### 研究への取組、今後の展望

これまでの共同研究・受託研究など

- 富山大学、富山県、北陸経済研究所、日本政策投資銀行とともに地域経済構造分析研究会を組織して地方創生に関する政策提言(2015年度)
- 富山県統計調査課より「平成23年富山県地域間産業連関表」の推計業務を受託(2016年度)
- 富山県統計業務研修において地域間産業連関表について解説(2017年度)

産学連携へのアピールポイント

- 今回、推計した地域間産業連関表をベースに各市町村ごとの産業連関表を推計することも可能
- 近年、RESASやJSTAT MAP、経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベースなど、地域経済、社会に関する統計が利用しやすい形で整備されている。これらの統計と産業連関分析を組み合わせることで、各地域の強みや課題を説得力ある形で提示できる

## 研究 REPORT

### 富山県地域間産業連関表の読み方

富山県地域間産業連関表の地域区分

	地域に含まれる市町村	
富山地域	富山市、滑川市、舟橋村、上市町、立山町	
県西部地域	高岡市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市	
新川地域	魚津市、黒部市、入善町、朝日町	

注：人口は総務省「平成27年国勢調査」による。

### 各地域の域際間取引



富山地域では県西部地域で生産された財・サービスを1515億円分中間投入として使っている

新川地域で発生した最終需要のうち537億円分は富山地域の生産によってまかなわれている

県西部地域で生産された財・サービスのうち1兆5249億円分は県外に移出されている

供給部門	中間需要			中間需要計	県内最終需要			県外への移出	県外からの移入	域内生産額
	富山地域	県西部地域	新川地域		富山地域	県西部地域	新川地域			
中間投入	1,785,049 (X <sup>1</sup> )	201,916 (X <sup>2</sup> )	71,385 (X <sup>3</sup> )	2,058,350	1,987,449 (F <sup>1</sup> )	172,037 (F <sup>2</sup> )	53,743 (F <sup>3</sup> )	1,616,252 (E <sup>1</sup> )	-1,466,441 (-E <sup>2</sup> )	4,421,391 (X <sup>4</sup> )
県西部地域	151,490 (X <sup>1</sup> )	1,648,570 (X <sup>2</sup> )	25,437 (X <sup>3</sup> )	1,825,497	170,196 (F <sup>1</sup> )	1,507,073 (F <sup>2</sup> )	11,063 (F <sup>3</sup> )	1,524,945 (E <sup>1</sup> )	-1,350,787 (-E <sup>2</sup> )	3,687,988 (X <sup>4</sup> )
新川地域	33,890 (X <sup>1</sup> )	12,016 (X <sup>2</sup> )	403,741 (X <sup>3</sup> )	449,647	41,180 (F <sup>1</sup> )	8,488 (F <sup>2</sup> )	457,588 (F <sup>3</sup> )	426,687 (E <sup>1</sup> )	-367,282 (-E <sup>2</sup> )	1,016,308 (X <sup>4</sup> )
中間投入計	1,970,429	1,862,502	500,563	4,333,494	2,198,826 (eF <sup>1</sup> )	1,687,598 (eF <sup>2</sup> )	522,394 (eF <sup>3</sup> )	3,567,884 (eE <sup>1</sup> )	-3,184,510 (-eE <sup>2</sup> )	9,125,686 (eX <sup>4</sup> )
租付加価値	2,450,962 (V <sup>1</sup> )	1,825,486 (V <sup>2</sup> )	515,744 (V <sup>3</sup> )	4,792,192						
域内生産額	4,421,391 (X <sup>1</sup> )	3,687,988 (X <sup>2</sup> )	1,016,308 (X <sup>3</sup> )	9,125,686						

生産の投入構造

### 平成23年富山県地域間産業連関表のあらまし

- ここでは各地域の産業をひとつにまとめているが、実際には産業を13部門、37部門、108部門に分類した産業連関表と付帯する逆行列係数表等を推計。
- 推計は、平成23年の富山県産業連関表をベースとしているが、その後公表された統計等を用いて延長推計も可能